



文：岩瀬 英之

今年は例年より一週間ほど梅雨入りが早いようです。私は普段、自転車通勤しているのでこの時期は大変です。雨の日はバスを利用していますが、時間がなかなか読めないで通勤時間には特に苦労しています。趣味もテニスなので、天気にも左右されて予定通り行かないことも多くなります。みなさんは雨の日の楽しみ方はありますか？私は引きこもってしまうことが多いので、なにかいい過ごし方があれば教えてください。

～ どうする？ 代車 ～



新型コロナウイルスの話題はニュースで取り上げられることも少なくなってきましたが、まだまだその影響は残っています。自動車の修理に関しては部品が入荷されないなどの理由から修理完了までの期間が長くなっているのが現状です。今まで2～3日で完了していた修理も1～2週間かかるというケースも出ているようです。ここでなにか問題になってくるのかというと、修理にお手持ちのお車を入庫している間の代車についてです。数日のことであれば、車無しでの生活も可能かもしれませんが、期間が伸びるとそうもいかないかもしれません。修理期間が伸びることで貸す側の修理工場やディーラーにも影響が出てきます。一度貸してしまうと完了まで代車が戻らないため代車自体の在庫がなくなってしまう、貸したくても貸せない状況になります。現状では多くの修理・整備工場、ディーラーでは代車の貸出をしていないそうです。普段、整備工場やディーラーと付き合いがあり無料で代車を貸してもらえていても、事故や故障など急に必要になったときに借りられなくなってしまうということが実際に起きてしまっています。



～ どんなときに必要になるのか ～

事故の場合、相手過失が100%であれば、レンタカー費用の賠償が受けられます。ですが、この対応もずっと借りられるわけではありません。通常、全損になった場合であれば、2週間から1か月程度が限度となります。今の環境では、次の新しいお車が納車されるまでには相当時間がかかるため相手からの補償だけでは対応しきれない可能性もあります。また、普段借りることができるディーラーなどでも、ご自身で使用しているお車と同等のものが借りられるとは限りません。「家族で使用するワンボックスカーに乗っているため同等サイズを希望したい」「運転が不安なため安全装置のある車を希望したい」「輸入車に乗っているため乗り慣れている車を希望したい」こういった場合にはご自身でも補償を考えておく必要があるかもしれません。自動車保険につけることのできるレンタカー費用の補償も借りられる限度額や日数、条件など保険会社によって違ってきます。一度ご加入内容を確認してみてください。



レンタカーの補償は事故や故障だけではなくありません。最近被害が多くなっている台風や雪害などの自然災害時にも役に立ちます。

災害時には被害を受ける方が集中するため、そもそもレンタカー自体借りられないこともあるかもしれません。借りられない期間にかかった交通費の実費に替えて利用できる保険会社もあるようです。

メンバー 近況報告

ゴールデンウィークにお墓参りへ

小川 康成

コロナの行動規制も無くなったのでゴールデンウィークに久しぶりに母の在所 新潟へお墓参りに行ってきました。叔父やいとこ家族と会ってたくさん話しをしたり、新潟の美味しいお酒と魚料理に舌鼓で、飲んで食べての二日間でした。特に日本酒は米どころ新潟なので本当に種類が多く、飲み比べしているうちについつい深酒気味でした。(笑) 直接、人と会って話す事の良さを再認識できました。

帰りには長岡に立ち寄り新潟が生んだ偉人、山本五十六連合艦隊司令長官の記念館を見てきました。記念館には、米軍機に撃墜された連合艦隊司令長官山本五十六ら 11 名が搭乗した海軍一式陸上攻撃機の左翼が展示されており、墜落時の激しさが想像できました。

パプアニューギニアから翼一枚を持ち帰る為、奔走した地元有志達の物語の本が販売されており、その晩に全て読み、政権がコロコロ変わる国から戦争遺産を日本へ持ち帰る事がどれほど大変かと興味深かったです。あと、記念に山本五十六さんの人育ての有名な言葉の手ぬぐいを額装して子育てに生かそうかと思っています。



自転車に関するニュースを見て

小川 とも子

最近、交通事故の多くが自転車に関係する事故で年々増えているそうです。事故防止の為、警察は取り締まりを強化し、自転車の交通違反に対しては今まで「警告」だけでしたが、2022.10.14 から刑事罰の対象として、交通切符いわゆる「赤切符」が切られることになりました。自転車は、便利な上、健康に良いので愛用者が増えてきているそうですが、車などと違って免許なしで誰でも乗れるので、自転車の運転ルールが分からず利用する人が、歩行者と同じ感覚で運転してしまうそうです。「自転車は車の仲間である」と認識し、加害者にならない様、注意して運転しないといいけないと言っていました。最近、自分の身を守る為にヘルメットの着用が「努力義務」となりました。それゆえ、ヘルメット製造会社は大変な忙しさだそうですが、頭を守ることで死亡に至らないケースが多いとか…。逆につけていない人は、万一の時に頭部打撲で亡くなっている方が多いそうです。ヘルメットの重要性を皆知り着用することにより、自転車での死亡事故が減ることを祈っています。

あと、愛知県の放置自転車数が全国 1 位、なんと 2 位の大阪の 2 倍と、不名誉な結果です。それと引取に来ない自転車が 700 台あり、その処分に 1 億 2 千万かかっていると話していました。不名誉な 1 位から抜け出し、処分代金の有効活用が出来ると良いですね。



七五三の前撮り

古川 友架

今年は娘が 7 歳になるので七五三の前撮りを検討していた矢先、前歯が抜けそうと言うので、慌てて七五三の前撮りを撮ってきました(笑) 歯が抜けていてもそれはそれでよいのですが、まだ 1 本も抜けておらず、やはり乳歯がそろっていた方がと思い予約したら、抜けた歯を修正できるみたいでびっくりしました。日焼け肌を白くできることは知っていたのですが…なんでもできてしまいますね。どのくらい写真を撮るのか、データが必要なのか、写真館によって様々で悩みましたが、結局 2 歳の頃と同じ所にしました。2 歳の頃はなかなか笑ってくれずポーズなど難しくて大変でしたが、今回はモデルさん気分笑顔でがんばっていました。被布から着物に変わったので、また大人っぽくなりました。

ドレス姿も花嫁のお色直しみたいてきれいで感慨深かったです。肩が内に入ってしまうので、背筋ピンと言われたら、肩も上がってしまって下げたら肩も丸まって…かわいくて笑ってしまいました。途中楽しかったのかモデルさんになって、お店に飾られたいと言っていました。終わったら笑い疲れたと言っていました(笑) 2 歳の頃とはまた違った雰囲気いい写真が撮れました。七五三のお参り当日も楽しみです♪

